

資金調達に関するご説明

2025年12月17日

株式会社ペルセウスプロテオミクス

(証券コード：4882)

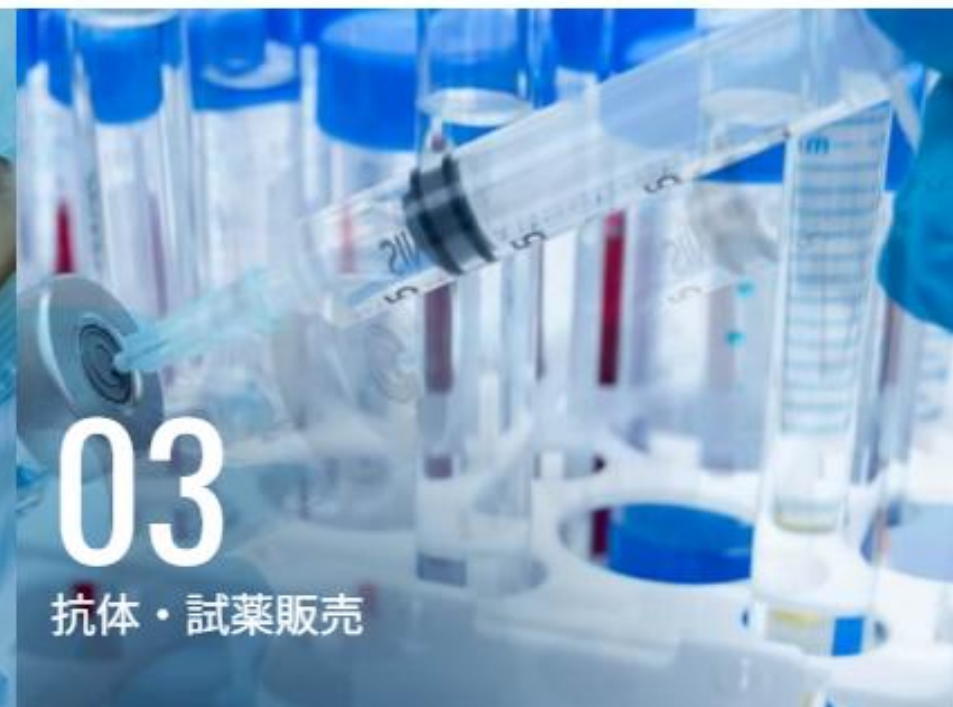


01 会社概要

最先端の抗体技術で世界の医療に貢献する

画期的な抗体医薬品を一つでも多く開発し、世界の医療に貢献することが私たちの使命です。

Our Business



会社概要



社名

株式会社ペルセウスプロテオミクス（略称：PPMX）

設立

2001年2月

事業内容

● 抗体医薬品の創薬・開発 ● 抗体研究支援 ● 抗体・試薬販売

証券コード

4882

拠点

本社・ラボ：東京都中央区日本橋箱崎町30-1
名古屋ラボ：愛知県名古屋市千種区千種2-22-8

資本金

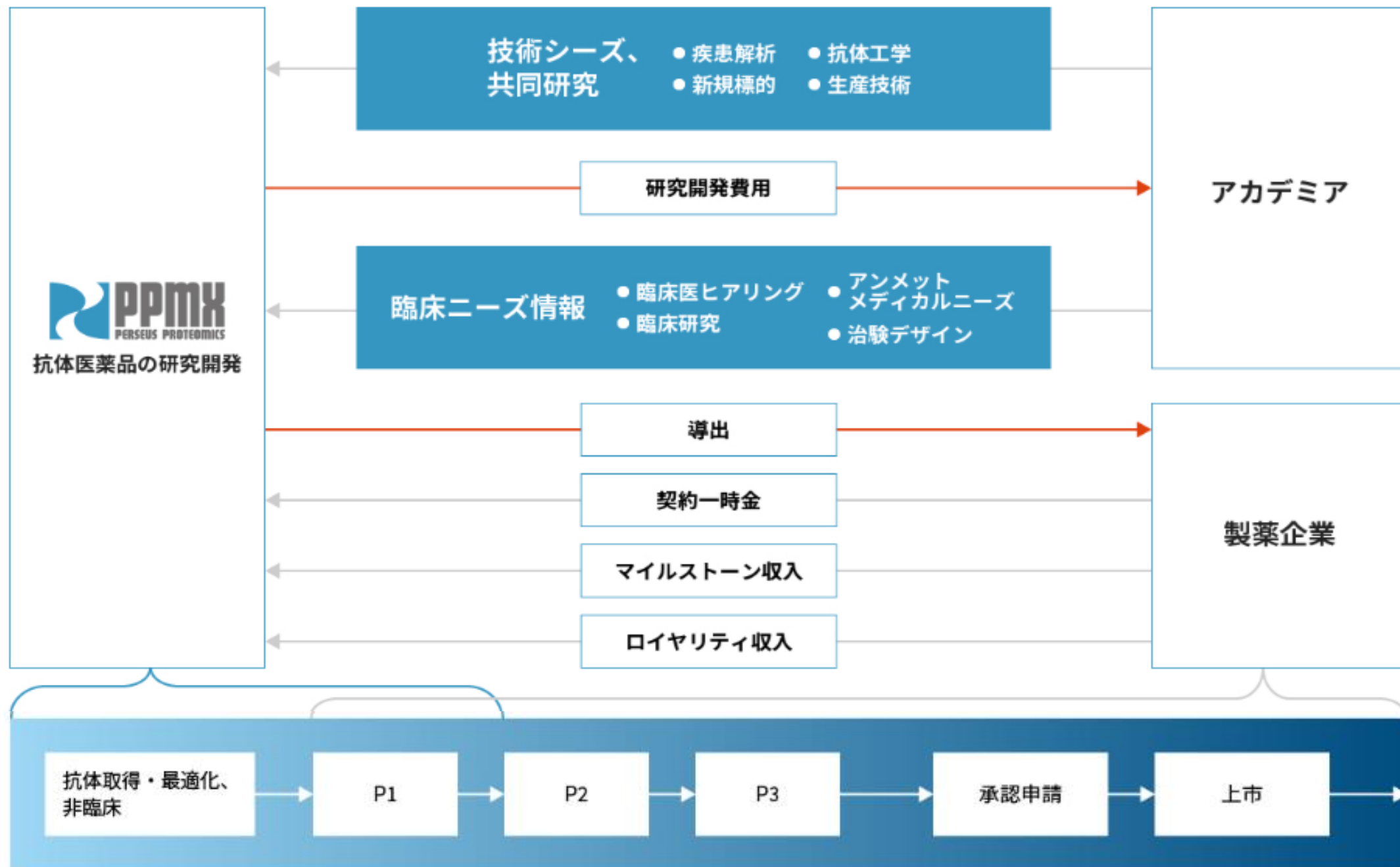
500百万円*

従業員

34名*（臨時従業員は含まず）

* 2025年9月30日現在

事業モデル

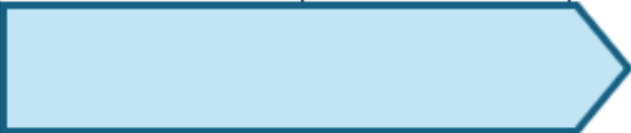

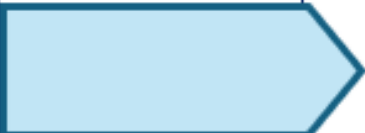
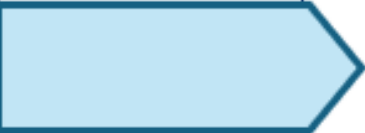


開発パイプラインの状況

開発コード	標的	対象疾患	創薬研究	非臨床試験	Phase1	Phase2	備考
PPMX-T003	TfR1	真性多血症	導出活動中				
		ANKL ¹⁾	医師主導治験				AMED
PPMX-T002 (RIT ²⁾)	CDH3	固形がん	富士フイルム株式会社による治験は終了 *				* RI: ⁹⁰ Y
			導出活動中**				** RI: ²²⁵ Ac
PPMX-T004 (ADC ³⁾)	CDH3	固形がん					UBE

1) アグレッシブNK細胞白血病 2) 放射性同位体標識抗体 3) 抗体薬物複合体

創薬パイプラインの状況

モダリティ	標的	対象疾患	抗体スクリーニング 系構築	抗体取得	抗体最適化	非臨床試験	提携先 ※
BsAb ¹⁾	非公開	血液がん					中部大学
BsAb ¹⁾ /ADC ²⁾	非公開	固形がん					非公開
ADC ²⁾	非公開	固形がん					国立がん研究センター
naked ³⁾	非公開	消化器系疾患					国立がん研究センター

1) 二重特異性抗体 2) 抗体薬物複合体 3) IgG抗体

※ 一部、非開示

02 第29回 新株予約権の概要

第29回 新株予約権の概要

第29回新株予約権

割当日	2026年1月5日
割当予定先	マッコーリー・バンク・リミテッド（以下「マッコーリー」）
潜在株式数	3,680,000株（2025年9月30日現在における発行済株式総数14,749,500株に対し24.95%）
発行価額	総額2,980,800円（新株予約権1個あたり81円）
調達予定額	930,380,800円（差引手取概算額）（注）
行使期間	2026年1月6日～2028年1月5日（2年間）
当初行使価額	255円
行使価額の修正	行使請求の効力発生日の直前取引日東証終値の92%に相当する金額に修正
下限行使価額	139円（発行決議日直前取引日（12月16日）の東証終値の50%に相当する金額）

（注）差引手取概算額は、本新株予約権の払込金額の総額に、本新株予約権の行使に際して払い込むべき金額の合計額を合算した金額から、本新株予約権の発行に係る諸費用の概算額を差し引いた金額となります。なお、本新株予約権の行使に際して払い込むべき金額の合計額は、当初行使価額で全ての本新株予約権が行使されたと仮定した場合の金額であります。行使価額が修正又は調整された場合には、調達予定額は増加又は減少します。また、本新株予約権の行使期間内に行使が行われない場合及び当社が取得した本新株予約権を消却した場合には、調達予定額は減少します。

第29回 新株予約権による資金使途及び支出予定時期

1.

研究開発資金

632百万円

支出予定時期
2026年1月~2028年3月

(i) PPMX-T004の研究開発資金

150百万円

PPMX-T004は、肺がん、卵巣がん、頭頸部がんといった医療ニーズの高い種々の固形がんを対象として開発中の、CDH3を標的するADCです。マウスによる実験で高い抗腫瘍効果を認め、現在は予備毒性試験を進めております。今後、PPMX-T004につきましては、GMP*治験薬製造準備（マスターセルバンクの製造及び製造機を用いての培養条件などを検討するエンジニアリングバッチの製造）及びGLP*対応（GLP試験の医薬品開発業務受託機関への委託）を予定しており、当該費用の一部として、今回の資金調達による調達資金から150百万円を充当することを予定しております。

(ii) 創薬パイプラインの開発資金

482百万円

創薬新規パイプラインの開発、及び当社独自の抗体技術の研鑽に係る費用（168百万円）並びに、研究員の人件費（314百万円）として、482百万円の充当を予定しております。当社は主要な創薬パイプラインとして、4つのテーマを進めております。これらのテーマは、当社の得意とする多様の抗体モダリティ（Naked、ADC、BsAb）を活用し、血液がん、固形がん、そして難治性の消化器系疾患といった幅広い領域に対して、新たな治療選択肢の創出を目指すものです。抗体取得後は、抗体の親和性、選択性、安定性といった特性の改善に加え、各抗体モダリティに応じた改変を行います。この抗体エンジニアリングとin vitro/in vivo*評価を繰り返すサイクルを通し、医薬品としての最適化を進め、その後のGLP試験、パイプライン化等へと繋げてまいります。

また、次世代の創薬技術開発におきましては、PPMX抗体ライブラリ2とAIを組み合わせたAIハイブリッド創薬技術の開発、及びシングルBセルプラットフォーム技術*の高度化を進め、より効率よく医薬品向けの高い品質の抗体を取得できるようにします。これらの技術構築を進めるため、アカデミア及び事業会社等とのin silico*技術の共同開発、検証実験を進めます。

2.

運転資金

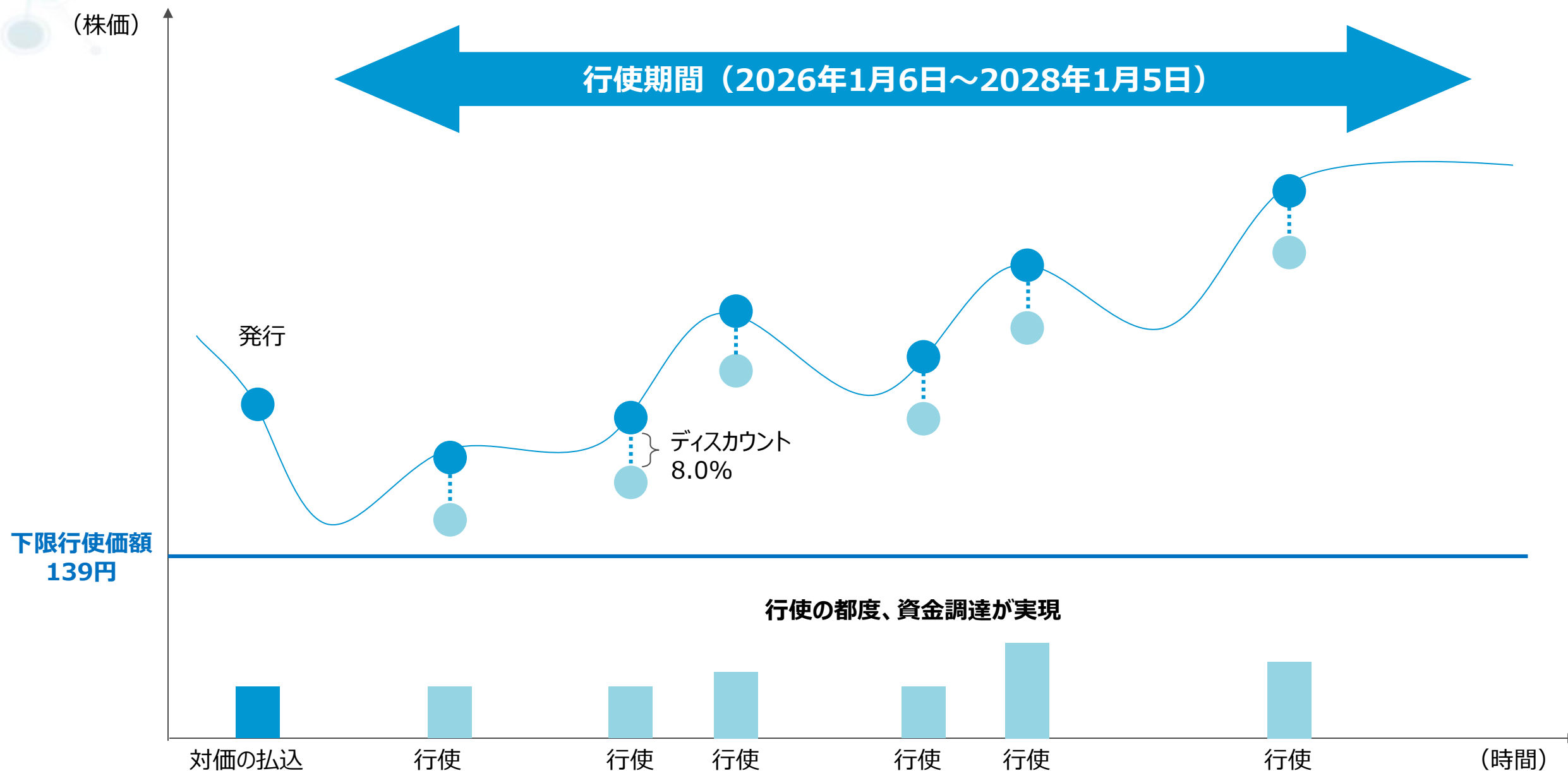
298百万円

支出予定時期
2026年1月~2028年3月

* 用語の説明は、次頁を参照ください

No.	用語	説明
1	GMP	「Good Manufacturing Practice」の略。製造所における製造管理、品質管理の基準を指します。
2	GLP	「Good Laboratory Practice」の略。非臨床試験において、試験施設の設備・機器、組織・職員、検査・手順・結果等が、安全かつ適切であることを保証する「優良試験所規範(基準)」。
3	in vitro	試験管や培養器等の中でヒトや動物の組織を用いて、体内と同様の環境を人工的に作り、薬物の反応を検出する試験のこと。
4	in vivo	マウス等の実験動物を用い、生体内に直接被験物質を投与し、生体内や細胞内での薬物の反応を検出する試験のこと。
5	シングルBセルプラット フォーム技術	個々のB細胞が産生する抗体の特性を解析し、目的とする抗体（例：高親和性や特異性の高い抗体）を効率的に発見・取得するための技術です。
6	in silico	コンピュータを使ってシミュレーションやデータ解析を行う、生命科学や薬学分野の研究手法。

第29回 新株予約権による資金調達のイメージ



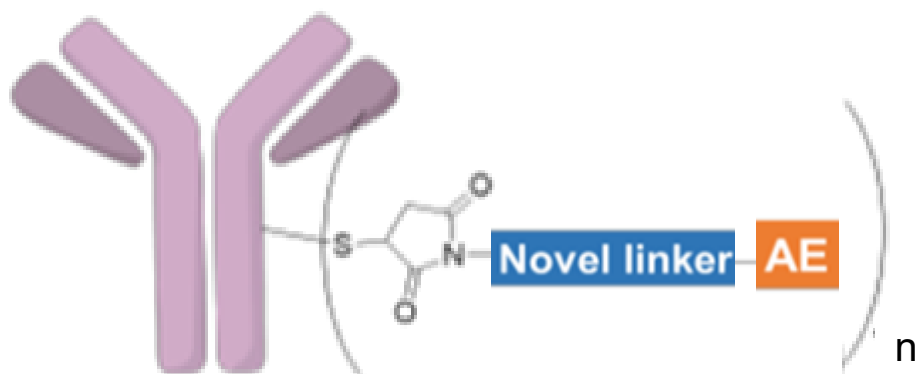
(注) 上記はイメージであり、当社株価が上記のとおり推移すること及び割当予定先により本新株予約権が行使されることをお約束するものではありません。

資金使途 ①-(i) : PPMX-T004の研究開発資金

PPMX-T004 の特徴と現状

- 肺がん、卵巣がん、頭頸部がんといった医療ニーズの高い種々の固形がんを対象に開発中
- CDH3を標的とする抗体薬物複合体 (ADC)
- マウスによる実験で高い抗腫瘍効果を確認 (右図)
- 現在、予備毒性試験を実施中

PPMX-T004 の構成

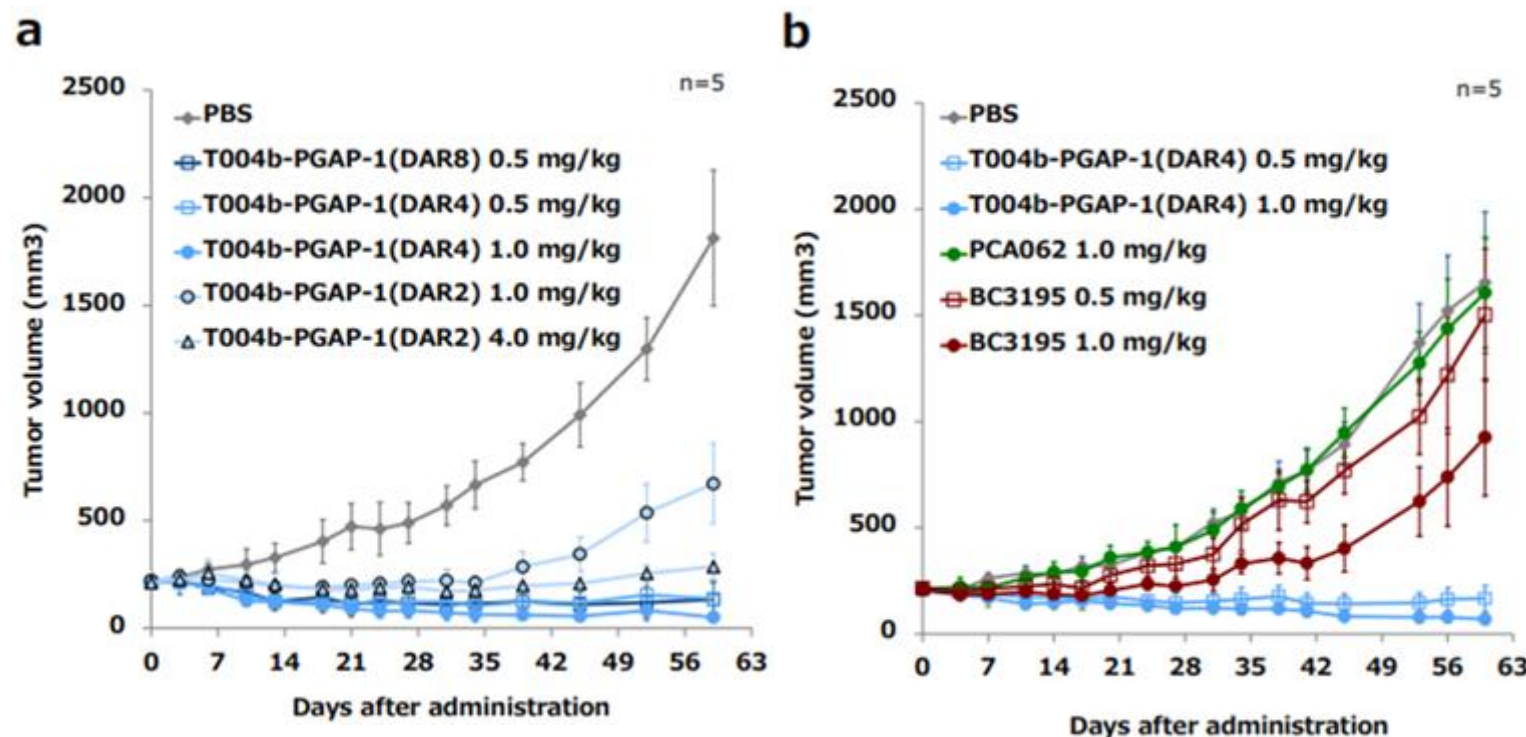


抗体

リンカー

低分子
抗がん剤

PPMX-T004bのDAR*違い (DAR2、DAR4、DAR8) 及び競合との薬効比較の結果



(a) Tumor growth following single dosing at day 0 in BxPC3 xenograft mouse models with different DARs.

(b) Comparison of tumor growth with preceding ADCs.

* Drug Antibody Ratio (抗体1分子あたりの薬物結合数)

資金使途 ①-(i) : PPMX-T004の研究開発資金

支出予定時期

PPMX-T004 工程タイムライン

2026年1月～

2027年1月～

2028年1月～
2028年3月

実施中

- 予備毒性試験

～2026年9月

計画中

- 抗体MCB*の製造
- エンジニアリングバッチの製造

2027年1月 ～ 2028年3月

- GLP毒性試験の CRO**
委託準備

2027年8月 ～ 2028年3月

* MCB : マスターセルバンク。製造の起点となる細胞株の凍結保管ロット

* * CRO : Contract Research Organization (医薬品開発業務受託機関)

資金使途 ①-(ii)：創薬パイプラインの開発資金

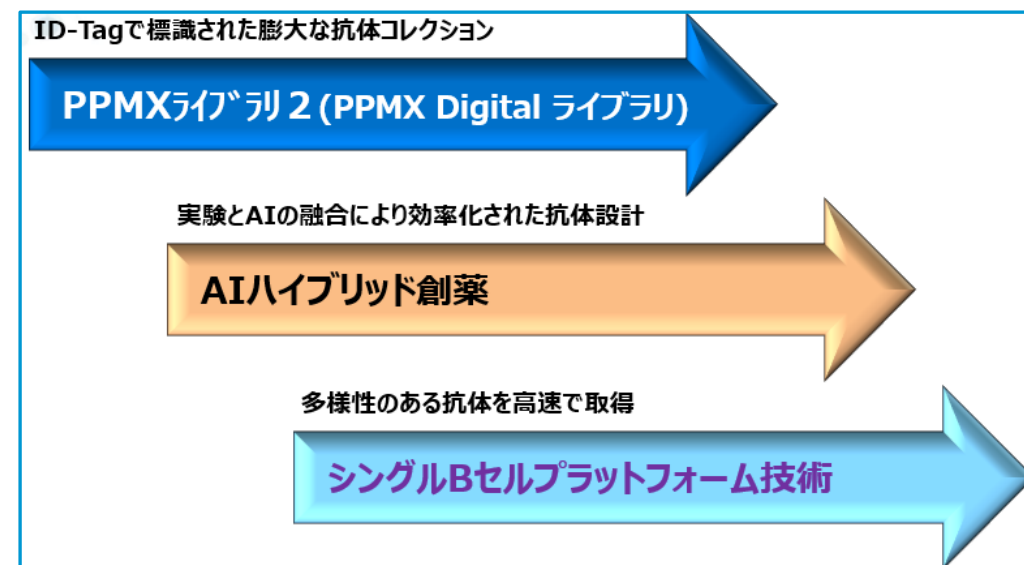
創薬パイプラインの開発に係る費用

- 抗体取得後の最適化（親和性・選択性・安定性の改変、モダリティ対応改変）
- in vitro/in vivo 薬効・毒性評価、動物モデル（外注含む）整備

当社独自の抗体技術の研鑽に係る費用

- 次世代技術開発：
 - PPMXライブラリ2 × AIの「AIハイブリッド創薬」
 - 「シングルBセルプラットフォーム技術」の高度化
 - アカデミア等との in silico 共同開発

事業活動を加速させるコア・コンピタンス



第28回 新株予約権による資金使途及び調達金額実績

サマリー

- 実調達額：948百万円（当初想定1,543百万円）
- 配分変更：運転資金は当初500百万円想定
→ 調達完了後320百万円に修正、2025年4月～9月に85百万円を追加充当
- 充当完了時期：2026年3月期第2四半期に全額充当完了

資金使途

調達金額実績

1 研究開発資金

543百万円

- PPMX-T003：PV患者さん第I相試験費用
- PPMX-T002：治験薬保管費用及び品質保証のための検査費用等
- PPMX-T004：GLP対応及びGMP治験薬製造準備
- 新規パイプラインの開発、当社独自の抗体技術の研鑽、研究員の人件費等

69百万円

20百万円

42百万円

412百万円

2 運転資金

405百万円

当社の「コア・コンピタンス」である最先端の抗体取得技術に AI創薬の最新テクノロジーを加え、各事業を多面的に支援・強化・推進

AIハイブリッド創薬

抗体取得技術

ハイブリドーマ法

シングルBセルプラットフォーム技術

ファージディスプレイ法

PPMX抗体
ライブラリ1

PPMX抗体
ライブラリ2

医療ニーズにつながる
高難度抗原に対する
抗体の取得

最先端の抗体取得技術を
駆使して世界の医療に貢献

抗体医薬品の
創薬・開発

抗体研究支援

抗体・
試薬販売

03 新株予約権に関するQ&A

Q&A (1/3)

No.	Question	Answer
1	新株予約権とは何ですか。	<p>新株予約権とは、発行会社に対して行使することにより、発行会社の株式の交付を受ける権利です。</p> <p>新株予約権の割当予定先であるマッコーリーが新株予約権を行使すると、当社は行使価額相当の金銭の払込を受け、同社に当社普通株式を交付します。これにより、当社は資金調達及び資本増強を行います。</p>
2	PPMX-T003とT002の2つの導出活動を実施している中で、なぜ今資金調達を行うのですか。	<p>当社は2025年9月末現在で1,385百万円の現金及び預金を保有しておりますが、2026年3月期第2四半期累計期間の営業損失は399百万円です。また、PPMX-T002及びPPMX-T003の導出に向けた活動を行っておりますが、現段階では導出に伴う収益は見込んでおりません。</p> <p>当社の医薬品事業の持続的な成長のためには、現在導出活動中のパイプラインに続く新たなパイプラインの創出が必須です。このため、当社は、研究開発資金と運転資金への充当を目的として、930百万円の資金を確保したいと考えております。</p>

No.	Question	Answer
3	この方法のメリットは何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 行使価額が各行使請求日の直前取引日の終値の92%に相当する金額に修正され、上限行使価額の設定がないため株価上昇時には資金調達額が増加する可能性があります。 ② 継続的な株価の上昇が見込まれる場合において当社が不行使期間を設定することや当社の判断で株価への影響を抑えることができます。 ③ 資本政策の変更が必要な場合には、契約条件に基づき残存新株予約権を取得することにより、希薄化を防止できるほか、資本政策の柔軟性が確保できます。
4	この方法のデメリットは何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 割当予定先の当社普通株式に対する保有方針は短期保有目的であることから、割当予定先による当社普通株式の売却により当社株価が下落する可能性があります。 ② 当社株価が下落した場合、株価に連動して行使時の払込価額が下方修正されるため、実際の調達額が調達予定額を下回る可能性があります。ただし、行使価額は下限行使価額を下回ることはありません。 ③ 割当予定先がマッコーリーのみであるため、不特定多数の新規投資家から資金調達を募るという点において限界があります。

Q&A (3/3)

No.	Question	Answer
5	割当予定先としてマッコーリーを選定した理由は何でしょうか。	当社は、間接金融からの調達のみならず、直接金融からの調達も含め、資金調達方法について検討しましたが、マッコーリー・グループに属するマッコーリーキャピタル証券会社及びマッコーリーからの資金調達のストラクチャー・基本条件の提案、その後の面談の過程で設計されたスキームが、当社の資金調達ニーズを満たすものであると判断し、また、マッコーリーのこれまでのグローバルな活動実績や保有方針等を総合的に勘案し、マッコーリーを割当予定先として選定しました。
6	2024年2月に発行を決議した第28回新株予約権による資金調達の状況を教えてください。	第28回新株予約権により、想定調達額1,543百万円のうち、948百万円を調達いたしました。研究開発及び事業運営を目的として2025年9月末時点で全額充当しております。



【お問合せ:】

Email: ir@ppmx.com

TEL: 03-6264-8224

FAX: 03-3668-7776

<https://www.ppmx.com>

本資料は、2025年12月17日に当社が公表したプレスリリース「第三者割当による第29回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行及び新株予約権買取契約の締結に関するお知らせ」の補足説明資料として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料には、将来についての予想や見通しが含まれておりますが、当社として、その達成を約束するものではありません。これらは現在当社で入手可能な情報に基づいて作成しており、経済や医薬品業界の動向などにより、変動する場合があります。